

令和3年度事業報告

社会福祉法人 翡翠会



社会福祉法人 翡翠会

法人の理念

「地域と共に生きる」

翡翠会行動指針

「3つの顧客、3つのLIFEの最大化」

3つの顧客

- 利用者様…翡翠会のサービスを利用する方々
- 地 域…大網白里市をはじめ山武郡市の地域住民
- 職 員…翡翠会に勤務する職員

3つのLIFE

- 生 命…健康管理
- 生 活…日常生活
- 人 生…生きがい

利用者様への基本姿勢

- 利用者様の意向を尊重して、多様な福祉サービスが総合的に提供されるよう創意工夫すること。
- 利用者様個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成すること。
- 利用者様の能力に応じ、自立した生活を地域で営むことができるよう支援すること。

翡翠会職員行動規範

- 「清潔感」と「礼儀正しさ」
- 「スピード」は誠意のあらわれ
- 「普通の感覚」を忘れない
- 「エコ」～「お金」「もの」「人力」を大切に使う
- 「能動性」～自ら気づき行動する勇氣
- 「チームワーク」～自己任務遂行と多様性の尊重

事業報告

令和3年度法人目標

- ・ICT活用と働き方改革を更に推進し、業務効率を上げる。
- ・災害に遭っても事業を継続できる強い法人づくりをめざす。

次年度への考察

今年度のICT活用の取り組みとして、法人として試験的にビジネス用SNS「LINEWORKS（ラインワークス）」を導入。法人全体への情報の共有化や災害時の安否確認等、有効性を検証した。また、ほほえみの里かきつばたに、眠りSCANとiPad記録ソフト・ケア記録アプリを導入。加えて、千葉県介護ロボット導入支援補助金を活用し、ウェルスリフトキャリーを1台導入した。これにより、ほほえみの里かきつばたにおける、職員の業務効率向上と利用者様の安全面が向上した。

災害時の取り組みとして、9月に法人として、災害対策部会・感染症対策部会・虐待防止部会、以上3部会を設置。災害対策と感染症対策については、事業所の枠を超えて、法人単位で取り組んでいく体制を立ち上げた。次年度以降は、さらに進めて行くようにする。

○理事会

- ・令和3年4月20日 15:00~16:00（山武みどり学園 会議室）
議 題：社会福祉法人翡翠会 小規模多機能型居宅介護施設新築工事について
（入札参加資格委員会）
- ・令和3年5月28日 16:00~17:00（山武みどり学園 会議室）
議 題：社会福祉法人翡翠会 小規模多機能型居宅介護施設新築工事について
- ・令和3年6月7日 10:30~11:30（サンライズ九十九里）
議 題：令和2年度事業報告案について
令和2年度会計決算案について
監事監査報告
大網白里市富田字東星谷2018番1土地一部購入について
定時評議員会の開催について
役員等賠償責任保険契約締結について
評議員選任・解任委員会の開催について
新評議員候補者の推薦について
諸規定の改定について
報 告：理事長の専決業務報告について
- ・令和3年6月21日 18:30~19:00（山武青い鳥工房）

議 題：役員任期満了に伴う改選について

- 令和3年12月3日 9：30～11：00（中部コミュニティーセンター）

議 題：新築移転かきつばたにおける家具等の購入業者選定について

山武みどり学園トイレ改修工事業者について

評議員選任候補者の決定について

評議員選任・解任委員会の開催について

評議委員会の開催について

諸規定の改定について

すえひろ工房やまぶき・新設かきつばた開設資金の担保における

承認について

報 告：理事長の専決業務報告について

- 令和4年3月26日 15：00～16：00（山武青い鳥工房）

議 題：令和3年度補正予算（案）

令和4年度事業計画（案）

人事について

令和4年度会計予算（案）

給与規程の変更について

山武みどり学園 新作業棟建設について

諸規定の改正について

○評議員会

- 令和3年6月21日 10：30～12：00（サンライズ九十九里）

議 題：令和2年度事業報告案について

令和2年度会計決算案について

監事監査報告

理事の選任について（10名）

監事の選任について（2名）

- 令和3年12月16日 10：30～11：00（中部コミュニティーセンター）

議 題：理事の選任について

すえひろ工房やまぶき・新設かきつばた開設資金の担保における

承認について

報 告：新築移転かきつばたにおける家具等の購入業者選定について

○評議員選任・解任委員会

- 令和3年6月7日 13：30～13：45（山武みどり学園）

議 題：新評議員の選任について

- ・令和3年12月16日 9:00~9:15 (山武みどり学園)
議 題：評議員の選任について

○職員構成 (令和4年4月1日現在)
山武みどり学園

	正職員	非常勤職員	
施設長	1	0	社会福祉士・介護支援専門員
課長	1	0	サービス管理責任者
係長	1	0	介護福祉士
支援員	16	17	主任2名：介護福祉士・保育士
事務員	3	1	
看護師	1	0	准看護師
栄養士	0	1	管理栄養士
調理員	3	5	主任1名：調理師
合計	26	24	

山武青い鳥工房・山武青い鳥の家

	正職員	非常勤職員	
施設長	1	0	社会福祉士・児童発達支援管理責任者・サービス管理責任者
課長	0	0	
支援員	5	17	介護福祉士・保育士
看護師	0	6	正看護師・准看護師
調理員	2	4	主任1名：調理師
合計	8	27	

カサ・ロサーダ

	正職員	非常勤職員	
支援員	2	2	介護福祉士
合計	2	2	

翡翠の宿一休

	正職員	非常勤職員	
支援員	0	3	介護福祉士
合計	0	3	

すえひろ工房やまぶき

	正職員	非常勤職員	
施設長	0	0	社会福祉士・介護支援専門員

課長	1	0	社会福祉士
支援員	3	4	介護福祉士・保育士
看護師	0	1	准看護師
合計	4	5	

ことぶき庵一休

	正職員	非常勤職員	
支援員	1	1	介護福祉士
合計	1	1	

かきつばた

	正職員	非常勤職員	
管理者	1	0	
介護職	3	8	介護福祉士・介護支援専門員
看護師	1	2	保健士・正看護師
合計	5	10	

ほほえみの里 かきつばた

	正職員	非常勤職員	
ホーム長	1	0	介護福祉士・介護支援専門員
介護職	7	10	主任 1 名：介護福祉士
合計	8	10	

居宅介護支援事業所かきつばた

	正職員	非常勤職員	
管理者	1	0	主任介護支援専門員・介護福祉士
介護支援専門員	2	1	主任介護支援専門員・介護福祉士、相談支援専門員
合計	3	1	

※正職員 57 名 非常勤職員 83 名 合計 140 名

○法人事務局

本年度事業の重点項目

毎年の課題の一つである人手不足の解消のために、新卒採用・中途採用の強化を打す。具体的には広告やホームページ・SNS等で積極的に情報を発信していく。採用活動を計画的に行うための予算を確保し、リクルート用パンフレットの作成するなど注力する。

引き続き「働き方改革」として、平日・日勤のみ勤務職員や週休 3 日・時短勤務の正職員、夜勤専属職員など多様な働き方を促進し人材確保に努める。

人材育成については、コロナ禍から従来の研修方法の見直し、事業間交流の仕方を工夫し、法人全体の意識統一を図る。ストレスチェックの導入を図り、

安心出来る職場環境を整える。

8050 問題など多様な地域課題に対応するため、かきつばたの増床移転計画や居宅介護支援事業所かきつばたへの相談支援事業の集約化、ことぶき庵一休の立ち上げ事業がスムーズに進むよう、法人としてバックアップする。

次年度への考察

令和 4 年度は新卒 2 名、第 2 新卒 1 名の 3 名を採用できました。メンター制度で育成に力を注ぎたい。

ホームページ、SNS の強化で翡翠会ブランドの確立を図っていききたい。

「WITH コロナ」に向けて、感染症対策をしながら、集合研修を再開し、事業所間の交流を図りたい。

昨年 10 月・ことぶき庵一休の開設、今年 4 月・かきつばたの移転を予定通り進めることが出来た。かきつばたについては、利用者増に対応できるよう、移転に合わせて、土曜日・祝日も食事を山武青い鳥工房より配送できる体制を確立した。

今後も法人全体で効率的な運営ができるよう、バックアップに努める。

○山武みどり学園

実施事業

- ・生活介護（定員 50 名）
- ・施設入所支援（定員 40 名）
- ・短期入所（定員 8 名）

【施設入所支援】

平均年齢：全体 46.4 歳（男性 45.5 歳 女性 48.2 歳）

最高齢：69 歳

最年少：30 歳

障害支援区分（平均 5.7）

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	1	5	21	27
女性	0	0	0	0	3	10	13
合計	0	0	0	1	8	31	40

利用稼働率

施設入所支援 96.8%

生活介護 86.9%

短期入所 68.7%

年間行事報告

月	目的	内容
4 月	調理実習	焼肉パーティー

5月	社会体験	選択食（ローストビーフ or 海鮮丼）
6月	レク	食事会 レクリエーション
7月	季節を感じる	七夕レクリエーション
8月	季節を感じる	お盆レクリエーション
9月	施設行事	秋祭祭
10月	スポーツ体験	園内フライングディスク大会
	季節を感じる	ピクニック・ハロウィン
11月	スポーツ体験	園内フライングディスク大会
12月	施設行事	クリスマス会
1月	季節を感じる	正月レクリエーション
2月	社会体験	選択食（ビーフシチュー or パスタ）
	季節を感じる	節分
3月	スポーツ体験	グラウンドボール大会

本年度事業の重点項目

- ・利用者様の安心・安全を向上させるため、人権尊重と虐待防止の徹底を行う。そのために、外部研修への参加と権利擁護委員会を定期開催し、意識をさらに深め、虐待防止の徹底を図る。
- ・コロナ禍でも楽しんで取り組むことができる活動の提供や環境整備を実施し、やりがいや充実した生活、楽しんで活動ができるようにしていく。
- ・職員の定着にも重点を置き、職員育成・業務内容や時間の見直しを行っていく。
- ・今後も有効な ICT 技術を積極的に導入し、利用者様の安全・安心の向上と業務の負担軽減を図っていく。
- ・災害時には福祉避難所として地域の方の受け入れ先として地域貢献できるように災害時への備えを行っていく。
- ・施設設備が経年劣化してきているため、随時補修、改修を実施。利用者様の生活しやすい環境の整備を行い利用者様の QOL 維持向上に努める。
- ・相談支援事業については山武みどり学園は廃止とし、居宅介護支援事業所かきつばたに経営資源を集約する。これにより8050問題など障がい者を持つ家族を一体的に支援し、介護保険との連携を深める。

次年度への考察

- ・権利擁護委員会が支援課会議内で行っている研修を継続し、虐待や権利擁護についての意識を高めていく必要がある。また、不必要な身体拘束等がないか再確認し、利用者様のへの支援の質の向上を図る。行動障害のある利用者様への対応が後手に回っているため、利用者様の行動を観察し、必要な支援を早期に努め、利用者様の安定した生活や事故防止に努めていきたい。

・新型コロナウイルスの感染状況に応じて、今後も外出・外泊の制限や、行事の縮小などが予想されるが、可能な範囲でのイベントを開催し利用者様のストレス軽減を図る。

・新たにデジタル推進委員会を発足し、業務のICT化を図っていく。また、新型コロナウイルスの感染拡大に備え、オンラインでの面会が出来るよう準備をしていく。

・新入職員に対してはメンター制度を取り入れ、精神面でのフォローができる体制を整えているが、メンターに過度な負担が掛からないようフォローしていく。

・利用者様の身体状況の把握に努め、生活しやすい環境を提案していく。また、利用者様の高齢化に伴い1Fの居室を利用する方の増加が予想されるため、必要な居室環境を整えられるようにしていく。

○山武青い鳥工房

実施事業

- ・生活介護（定員30名）

利用者状況

平均年齢：全体 44歳（男性 45.5歳 女性 42.1歳）

最高齢：70歳

最年少：20歳

障害支援区分（平均 4.8）

区分	1（無）	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	9	8	5	22
女性	0	0	2	6	6	7	21
合計	0	0	2	15	14	12	43

利用稼働率

生活介護 90%

年間行事報告

月	目的	内容
4月	レク	ドライブ
5月	レク	ドライブ
6月	レク	ドライブ
7月	施設行事	納涼祭
8月	レク	ドライブ
9月	社会参加	ドライブ
10月	レク	ドライブ
11月	レク	ドライブ

12月	施設行事	クリスマス会
1月	レク	初詣
2月	レク	節分
3月	レク	ドライブ

本年度事業の重点項目

- ・感染症対策（特に新型コロナウイルス対応）を強化する。
- ・新規利用者様を確保するため、相談支援事業所・特別支援学校へ働きかける。
- ・利用者様のニーズも多様になってきているため、個別の活動メニューを再検討するとともに、受注作業も継続して実施する。
- ・特別支援学校の実習を終えた方々が、卒業後に利用につながるよう、学校や相談支援事業所との連携を図っていく。
- ・福祉系大学や専門学校からの実習生を積極的に受け入れ、法人への就職につなげる働きかけをする。

次年度への考察

令和3年度、コロナウイルスの流行により蔓延防止発令中は、利用を控える利用者様が多くなっています。蔓延防止措置が繰り返されるたびに、利用を控える利用者様の数が多くなり、防止措置が終了しても利用日数がすぐには回復せず事業の運営が厳しい状態が続いています

利用日数は、ゆっくりと回復してきていますが、コロナ前に回復するには利用者様の増加が必要であり、そのためには、相談支援事業所と連携して、新しい利用者様の獲得が重要です。

また、保育士等の学生実習生については、問合せが多くあり、積極的に受け入れていき、将来の職員確保の基礎としたい。

○山武青い鳥の家

実施事業

- ・放課後等デイサービス（定員10名）

利用者状況

平均年齢：全体 14.7歳（男性 11歳 女性 15.3歳）

最高齢：18歳

最年少：7歳

個別サポートⅠ該当区分

区分	該当	非該当	合計
男性	3	2	5
女性	5	1	6
合計	8	3	11

利用者働率

放課後等デイサービス 45%

年間行事報告

月	目的	内容
4月	レク	誕生会
5月	レク	誕生会
6月	レク	誕生会
7月	レク	納涼祭
8月	レク	ドライブ（小中池等）
9月	レク	誕生会
10月	レク	誕生会
11月	レク	誕生会
12月	レク	クリスマス会
1月	レク	誕生会
2月	レク	節分
3月	レク	誕生会

本年度事業の重点項目

- ・感染症対策（特に新型コロナウイルス対応）を強化する。
- ・「子ども食堂」等を活用し広報活動に努め、新規の利用児の確保につなげる。
- ・療育活動メニューの充実。
- ・学校等関係機関との連携の強化。

次年度への考察

令和3年度、新型コロナウイルスの流行により蔓延防止発令中は、利用を控える利用者様が多くなっている。蔓延防止措置が繰り返されるたびに、利用を控える利用者様の数が多くなり、防止措置が終了しても利用日数がすぐには回復せず事業の運営が厳しい状態が続いている。

また、年度途中での利用終了する方もあり、定員割れが12月頃より続いた。次年度は、相談支援事業所などと連携し、新しい利用児童の確保に努める。

医療的ケア児の利用については、看護師が必置等などの要件が厳しくなっており、今後の課題として慎重に検討していく。

○カサ・ロサーダ

実施事業

- ・共同生活援助（定員6名）

利用者状況

平均年齢：全体68歳（男性63歳 女性73歳）

最高齢 : 82 歳

最年少 : 57 歳

障害支援区分 (平均 4.3)

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	2	1	0	3
女性	0	0	0	2	1	0	3
合計	0	0	0	4	2	0	6

利用稼働率

共同生活介護 100%

年間行事報告

月	目的	内容
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月	クリスマス会	クリスマスケーキ等でお祝いする。
1月	年末年始	書初め、テイクアウト等で楽しむ。
2月		
3月	節分	室内から外に向けて豆まき。

本年度事業の重点項目

- ・新型コロナウイルスによりイベント中止が増えており、ホーム内で楽しめることを増やす。
- ・外出する際は、人通りが多い場所、密集している場所を避けて、新型コロナウイルスの感染を防ぐ。
- ・日用品の購入等は利用者様と一緒にいき、利用者様の好みの物をご自身で選んで頂く。
- ・日中活動先と連携し、体調不良時や怪我に対しての受診を迅速に行う。また、散歩など体を動かす機会を設け、身体機能の維持に努める。

次年度への考察

コロナの影響により、外出が難しい日が継続すると思われる。それに伴い、室内でいることが増えて、身体能力・認知度の低下に繋がっていくと思います。ホームでの生活におけるストレス軽減を図り、利用者間の関係の悪化や怪我に

ならないよう尽力する。

○翡翠の宿一休

実施事業

- ・短期入所（定員 6 名）

利用者状況

平均年齢：全体 44.4 歳

最高齢：60 歳

最年少：24 歳

障害支援区分（平均 4.8）

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	4	0	3	7
女性	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	4	0	3	7

利用稼働率

短期入所 48.6%

年間行事報告

月	目的	内容
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月	季節行事	クリスマス会
1月		
2月		
3月		

本年度事業の重点項目

- ・安心して宿泊していただけるよう、職員配置の見直しを行い、複数の職員が勤務できる体制を整備する。
- ・不定期で利用されている方へ、山武青い鳥工房やすえひろ工房やまぶきをご利用いただけるよう、送迎等の体制を整える。
- ・定期的にご利用いただける方を確保する。

- ・新入職員に対して権利擁護等の研修を行っていく。

次年度への考察

- ・一休担当職員が夜勤に入ることが少なくなっているため、定期的に業務に入れるように調整する必要がある。また、開所できない曜日もあるため、フルオープンできるよう職員配置をしていく。
- ・利用者様は固定化されており、稼働率も上がっていない。青い鳥工房やすえひろ工房やまぶきとセットで利用していただけるよう提案するとともに、新規利用者の獲得も必要となる。

〇すえひろ工房やまぶき

実施事業

- ・生活介護（定員20名）

利用者状況

平均年齢：全体 36.6 歳（男性 38.5 歳 女性 34.7 歳）

最高齢：65 歳

最年少：19 歳

障害支援区分（平均 4.6）

区分	1（無）	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	6	5	3	14
女性	0	1	1	7	4	2	15
合計	0	1	1	13	9	5	29

利用稼働率

生活介護 54.4%

年間行事報告

月	目的	内容
4月		
5月		
6月		
7月	社会参加	手をつなぐスポーツのつどい絵画展
8月		
9月		
10月		
11月		
12月	施設行事	クリスマス会
1月		
2月	レク	節分豆まき

3月

レク

お花見（ドライブ、公園散策）

本年度事業の重点項目

- ・営業休止したことにより失った利用者様やご家族、関係各所からの信頼を回復できるよう、安定した事業運営を心掛ける。稼働率の上昇を目標にして安定した収入を確保する。
- ・特色の一つでもある作業活動を維持できるよう、現在いただいている仕事を継続しながらも、利用者様が出来そうな仕事の情報を収集し、積極的にチャレンジしていく。
- ・新規利用者様の獲得。法人内の入所施設やGHの利用者様に頼っている現状を少しでも改善できるようにする。

次年度への考察

- ・今年度は年間通して営業することができたものの、まだ法人内の事業所からの利用者様に頼っている部分もあり、稼働率が目標に達していない。また、新規利用者様も少し増加したが、今後はことぶき庵一休と併せた利用も提案するなどして、ご利用の選択肢として考えてもらえるようにしていきたい。
- ・作業活動については、新しいメニューが増えたことで、今までなかなか参加できなかった利用者様も実施できるようになったので、今後も余暇も含めて活動内容を検討していくようにし、利用者様個々が気持ちよく過ごせるようにしたい。

○ことぶき庵一休

実施事業

- ・短期入所（定員5名）

利用者状況

平均年齢：全体 37.6 歳（男性 28 歳 女性 39 歳）

最高齢：53 歳

最年少：25 歳

障害支援区分（平均 4.3）

区分	1	2	3	4	5	6	合計
男性	0	0	0	0	1	0	1
女性	0	0	1	4	2	0	7
合計	0	0	1	4	3	0	8

利用稼働率

短期入所 43%

年間行事報告

月

目的

内容

最高齢 : 97 歳

最年少 : 53 歳

介護度 (平均 2.0)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
男性	1	0	1	2	2	0	0	6
女性	0	5	1	4	2	2	1	15
合計	1	5	2	6	4	2	1	21

利用稼働率

通い 77.1%

泊まり 16.3%

訪問 6,671 回 (年間総数)

年間行事報告

月	目的	内容
4月	お花見ドライブ	八鶴湖方面へのお花見
5月	子ども食堂	ニコニコ弁当の配布会
6月		
7月		
8月	納涼祭	縁日のレクのみの実施
9月	敬老会	敬老会メニューによる食事会
10月		
11月	子ども食堂	ニコニコ弁当の配布会
12月	クリスマス会	クリスマスメニューによる食事会
1月	子ども食堂	ニコニコ弁当の配布会
2月		
3月	子ども食堂	ニコニコ弁当の配布会

本年度事業の重点項目

- ・ほほえみの里かきつばたや居宅介護支援事業所かきつばたとの連携を継続し、利用者様の獲得や登録定員の保持に努める。
- ・利用者様の状態の把握に努め、変化に応じて他事業所とも連携し本人にあったサービスの提供ができるよう協力する。
- ・利用者様の日々の状態把握を確実にいき、家族や関係者と連携し、皆さんに喜んで頂けるような支援を心掛ける。
- ・大網白里市をはじめ、近隣の市町村や各種団体との協力、認知症カフェ、介護支援ボランティアの受け入れにより、地域の繋がりを深めると共に信頼関係を構築する。

- ・新規のご利用者様や継続して利用している利用者様も、ともに高年齢化や身体機能の低下によって提供する支援が多様化してきている。職員間で情報共有を密に行い、利用者様ひとりひとりに日々対応していけるよう努めていく。
- ・増加するニーズに対応し定員を増やせるよう、令和4年度に増床・移転を計画している。今年度は移転に向けてしっかりとした準備が行えるようにする。
- ・職員全体で会議や研修に参加する事で互いに学び合い、より良い支援を目指すことが出来るような環境を作り上げる。

次年度への考察

大網白里市内の星谷地区に事業所移転を行った。居宅のかきつばたと同じ事業所となったので、利用者様の獲得や登録定員の維持の為連携していきたい。

居室の数が増え、登録定員、日中の利用定員も増えた為、職員の拡充を行い利用者様へのサービス提供を柔軟に行っていくとともに、日中定員や宿泊の居室の空いた部分を活かせるよう共生型の障がいサービスの受け入れも積極的に行っていく必要がある。

昨年までかきつばたのPRの為開催してきた子ども食堂が翡翠会全体の取り組みとなった為、これまでの経験が生かせるようサポートしていく。

○ほほえみの里かきつばた

実施事業

- ・地域密着型サービス認知症対応型共同生活介護事業所
定員 名

利用者状況

平均年齢：全体 84.6歳（男性81歳 女性86歳）

最高齢：100歳

最年少：67歳

介護度（平均 3.0）

	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	合計
	2	1	2	3	4	5	
男性	0	2	0	2	2	0	6
女性	0	1	1	2	5	0	9
合計	0	3	1	4	7	0	15

利用稼働率

共同生活介護

1階ユニット 95.2 %

2階ユニット 91.7 %

年間行事報告

月	目的	内容
4月	季節行事	お花見弁当
5月	施設活動	園芸・書道
	予防接種	コロナワクチン接種 1 回目
6月	気分転換	紫陽花見学ドライブ
	訓練	避難訓練（火災夜間想定）
	誕生日お祝い	誕生会
7月	季節行事	七夕祭り
	誕生日お祝い	誕生会
8月	季節行事	納涼会
	誕生日お祝い	誕生会
9月	季節行事	敬老会
	誕生日お祝い	誕生会
10月	季節行事	芋煮会
	気分転換	ドライブ(富田さとにわ耕園)
	施設活動	生け花
	誕生日お祝い	誕生会
11月	誕生日お祝い	誕生会
	予防接種	コロナワクチン接種 2 回目
12月	季節行事	クリスマス会
	訓練	避難訓練(日中火災想定)
	誕生日お祝い	誕生会
1月	季節行事	初詣
	季節行事	お茶会
	誕生日お祝い	誕生会
2月	季節行事	節分
	気分転換	ドライブ(富田さとにわ耕園)
	誕生日お祝い	誕生会
	予防接種	コロナワクチン接種 3 回目
3月	季節行事	ひな祭り弁当
	誕生日お祝い	誕生会

本年度事業の重点項目

- ・小規模多機能や居宅介護支援など法人内の事業所と連携を図り速やかな入居へ結び付けていく。
- ・随時、待機者へ状況確認を行い、行政・介護事業所へ情報提供や収集を行い入居に繋げる。

- ・地域ニーズに添えていくため、短期入所生活介護体制を整えていく。
- ・入居者様が安心して生活して頂くようユニット会議・職員会議を通して、情報・ケアの共有化を図る。また感染症対策・身体拘束廃止などの研修については、eラーニングを活用し人材育成を図る。
- ・事業所が浸水想定区域内であるため、台風・豪雨災害避難訓練を定期的に行う。浸水用バリケードなど防災器具訓練も同時に行う。火災は年2回、地震も想定して定期的に訓練を実施する。また区長と連携し、地域への協力体制を整えていく。

次年度への考察

- ・稼働率が低下している事から、小規模多機能かきつばた、居宅介護事業所かきつばたと連携、情報交換し、稼働率を上げる為の話し合いを行う。また、地域包括、他介護事業所、病院と連携を行い、スムーズな入居に向けた取り組みを行っていく。
- ・短期利用者獲得に向け、PR不足により、短期入所事業を行っている事を知らない事業所が多く見られた。法人事務局と連携し、チラシ作成を行う。挨拶も兼ね、他事業所へPRを行っていく。
- ・令和3年度よりICTを取り入れた。眠りスキャン・ケア記録アプリ・ウェルスリフトキャリーを導入。まずは定着を目標にし、今後薬局、他事業所と連携を進め、入居者様のケアの改善、業務の効率化を目指す。また、LIFEを本事業所でも本年度中に取り入れていく予定。
- ・eラーニングを活用し、研修の充実を目指す。身体拘束廃止義務化に伴い、全職員に研修を行い、3か月に1回の会議を行う。
- ・引き続き感染対策に取り組み、コロナワクチン接種を行いながら、今後は感染対策と並行し、外部のボランティアの招へいや外出を行い、入居者様の認知症状の進行を防ぐ。

○居宅介護支援事業所かきつばた

実施事業

- ・居宅介護支援

利用者状況

平均年齢：全体 68.4歳（男性 82.6 歳 女性 81.5 歳）

最高齢： 96 歳

最年少： 65 歳

介護度

要支援	要支援	要介護	要介護	要介護	要介護	要介護	事業	合計
1	2	1	2	3	4	5	対象者	

男性	3	4	5	3	2	1	1	0	19
女性	9	18	15	7	3	4	1	0	57
合計	12	21	20	10	5	5	2	0	76

利用稼働率介護

契約者数 要介護45名 要支援33名
 取り扱い件数 要介護43名 要支援33名
 障がい者 118名 障がい児 3名

本年度事業の重点項目

- ・介護・共生・障がいと本法人の展開する多様な福祉サービスを活用し、どのような状況の方の相談にも対応する姿勢を継続していく。
- ・かきつばた・ほほえみの里かきつばたとの連携を今まで以上に推進していくと共にみどり学園、青い鳥工房など法人内の障がいサービス事業所との連携も深めていく。
- ・相談支援利用者様を、ご本人だけでなく家族単位で支える視点で支援する。
- ・千葉市など山武郡市以外の方の相談も積極的にお受けしていく。
- ・山武みどり学園の相談支援事業を引き継ぎ、法人の相談支援事業の中核事業所となれるようケアマネジメントの質の向上に努める。

次年度への考察

- ・法人内の各事業所との連携、山武市障がい者基幹相談支援センターと連携し、相談支援の質の向上に努めると共に、法人内のサービスの稼働率の向上も視野に入れて事業所運営を行う
- ・介護・障がい、どのような方でも支援が行えるよう、法人内サービス以外の幅広い地域の社会資源の把握に努める
- ・ご家族単位の支援を視野に事業を行っていく。

○地域における公益的な取り組み

実施事業

- ・カフェかきつばた（認知症カフェ）
- コロナ禍の為、中止

実施・参加状況

- ・あんどんねえさ 開催『九十九里地域認知症家族の会』in 大網白里市
- 希望者があった時のみ開催。 隔月：13：00～15：00 開催

実施事業

- ・子ども食堂かきつばた（子ども食堂）

実施・参加状況

- ・年4回 開催 ドライブスルー方式でお弁当配布で開催

(5月22日・11月27日・1月22日・3月26日)

- ・年間参加者 232名(総配布食数)
- ・大網ロータリークラブ協賛による資金・食材の提供

次年度への考察

コロナ禍2年目となった今年度は、大網白里市内でも感染が拡大し、地域住民を交えた本事業は大きな変化を余儀なくされた。認知症カフェについては、高齢者を対象としているため中止とし、認知症患者を抱える家族のサポートの場「あんどんねえさ」のみ、細々と継続した。また、子ども食堂についてはドライブスルー方式でのお弁当配布とし、年4回開催した。

特に子ども食堂については、コロナ禍における社会福祉法人の取り組みとして取材を受ける等、法人のPRにつなげることができた。

次年度も制約を受けながらの開催となるが、細々でも継続することが肝要と考える。様々な工夫をしながら、地域ニーズに応じた事業を継続し、「地域と共に生きる」という法人理念の実現に尽力したい。